

中日会報

公益社団法人 中部日本書道会
 編集事務局 名古屋市
 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19
 桑山ビル8階C号室
 電話 (583) 19000番
 F A X (583) 1910番
<http://www.cn-sho.or.jp>
 info@cn-sho.or.jp
 印刷 株式会社 荒川印刷

あいさつ



理事長 伊藤昌石

中日会報も今回一八〇号の発刊となりました。これもひとえに先人のご苦勞、会員の皆様のご支援・ご協力があったる事であり、又、会員部長はじめ、次長、委員の方々の日頃からのご尽力による賜と感謝申し上げます。

本年は五月に伊勢志摩サミットが開催予定で何かと世間の注目を浴び、中部の活気になればと嬉しく思っております。その後、十月末からは、第三十一回国民文化祭あいち二〇一六が『愛故知新』（伝統を「愛」しみ、新しきを「知」り、文化は動く）をテーマに開催されます。中部日本書道会も、本会の公益性、一般市民への書写・書道芸術の啓蒙を目的に、第六十六回書きぞめ展、第六十六回中日書道展を応援事業としてコラボさせました。

さて、会員の皆様には、中日書道展の出品を控え、審査結果を楽しみにしてみえる頃だと思えます。審査にあたり、よい作品、努力された作品を見逃さぬよう審査員一同、細心の注意をはらい審査にあたる所存であります。



第三十回記念濃飛支部展によせて

理事長 伊藤 昌石

公益社団法人 中部日本書道会 濃飛支部展が第三十回という節目の年を迎えることができ、またこと心よりお慶びを申し上げます。これもひとえに役員の方のご尽力と、会員の皆様のご協力のおかげと厚く御礼申し上げます。

濃飛支部は、一九八五年（昭和六十年）に設立され、これまでの隆盛を築き上げていただけました先人の先生方、歴代支部長の永治秋聲先生、今井仙童先生、安江子猷先生、市川恵一先生、中川貴舟先生方のご尽力の賜物であったからと深く感謝を申し上げます。

第三十回記念濃飛支部展では、展示作品を通して熱意や心意気が伝わってきました。猛暑に向かう時期の中で暑さを忘れるくらい熱い練習に励まれたことでしょうか。日頃の練習、不断の努力があつてはじめて成り立つのが作品です。試行錯誤を繰り返しながら、やがてその人らしい作品になります。力

濃飛支部会報

第五号（平成二十八年二月一日）掲載

そのほか、今後の「国内史跡探訪研究旅行」「書展」「書道教育研修会」につきましても、すでに斬新な計画で進められておりますので、一人でも多くの会員、一般の方々に参加していただきますようお願い申し上げます。

目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 第四回理事会・第一回評議員会開催
- 3 祝賀懇談会・講演会
- 4 濃飛支部創立三十周年
- 5 第六十六回中日書きぞめ展を終えて
- 6 樽本樹郎名誉副会長が寄贈
- 7 第三十三回読売書法展
- 8 第六十八回毎日書道展
- 9 改組新第二回日展東海展中日賞に 山際雲峰氏
- 10 第六十六回中日書道展運営委員会 日程表
- 11 平成二十七年第四回理事会内容 (議案書より抜粋)
- 12 第六十六回中日書きぞめ展授賞式
- 13 同
- 14 入賞者
- 15 支部だより (下半期)

平成二十七年 第四回理事会・第一回評議員会開催

日時 平成二十八年二月十一日(木・祝)
 場所 名古屋観光ホテル

本年度第四回理事会が去る二月十一日に開催されました。

理事二十七名の出席をうけて、伊藤理事長の挨拶により始まり、二十八年度事業計画案・同予算案、資産の運用について、諸規程の制定並びに改定について、評議員及び正会員の承認、審査会員の承認等の議事について熱心にかつ慎重に審議が行われすべて承認されました。



事業報告をする天野庶務部長

理事会終了後、引き続き第一回評議員会が本会の定款に従い理事会における決定事項の報告会という形で開催され、理事会で決定された事項について詳細に報告されました。内容の詳細はP2及びP5〜9に記載

平成27年度 第4回理事会・第1回評議員会 改組新第2回日展入賞・入選、読売書法展受賞者 祝賀懇談会 開催

祝賀懇談会を開催して

厚生部長 小島 瑞 柳

平成二十七年、第四回理事会、第一回評議員会の懇談会が、平成二十八年二月十一日（木・祝）に、名古屋観光ホテル三階那古の間において開催されました。

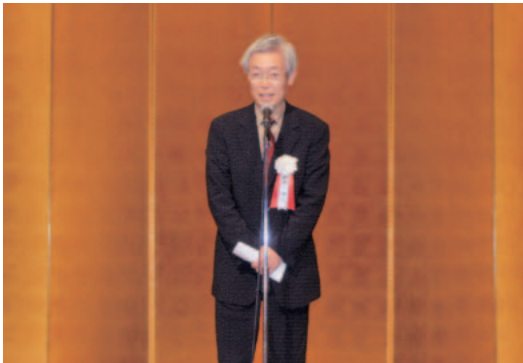
始めに、安藤滴水名誉副会長の「今年の日展は、東海地区で沢山の人が入選入賞しました。今日はそのお祝いの方々を中心に賑やかで楽しい懇談会にしましょう。」とお言葉で始まりました。

続いて、来賓の皆様を代表して、中日新聞事業局文化事業部長の西原健二様より、「精神性、芸術性を集約している総合芸術である書を、日本への観光客の皆さんにも普及して頂きたい。」とお言葉を賜りました。

ご来賓、本会役員の皆様のご紹介の後、褒賞部長より、平成二十七年改組新第二回日展東海展 特選・中日賞受賞者、初入選者、第三十二回読売書法展 読売新聞社賞受賞者の皆様に、樽本樹邨名誉副会長より花束と記念品が授与されました。本当におめでとうございました。

そして、東海テレビ放送事業局選任局長の加藤昭宏様より、「書道が社会に潤いを与え、人々の心を豊かにしてくれることを願う乾杯！」のご発声で、賑やかに楽しい懇談会となりました。

三六八名のご参加を頂き、盛況の中、和やかに祝賀懇談会が終えられましたことを心よりお礼申し上げます。



懇談会で挨拶される安藤滴水名誉副会長



乾杯 東海テレビ放送 加藤昭宏様



来賓祝辞 中日新聞社 西原健二様

平成二十七年、度 講演会を開催して

研究部長 廣 澤 凌 舟

二月十一日（木・祝）名古屋観光ホテル曙東の間において中日新聞社取締役論説担当兼東京本社論説室論説主幹・深田実先生を講師にお迎えして「イスラムは怖いか」という演題でご講演（約一時間十五分）いただきました。

昨今、メディアを賑わせている「イスラム」への関心の高さの表れか、会場は立ち見が出る程（参加者三九一名）の盛況となりました。先生は「エルサレム」や「カイロ」に渡航されており、その経験を踏まえた説得力あるお話に思わず身を乗り出す参加者も数多く見られました。

「エルサレム・カイロで見たこと」「歴史を動かす民衆の心理」等をユーモアを交えてお話しいただき、終始和やかな雰囲気でお話の優しいお人柄が窺える講演会となりました。

最後に伊藤昌石理事長より「多種多様な考え方に対応する事が必要」と感想を述べられ終了いたしました。

参加者からは「困っている人を助けると良い事がある（喜捨しきしゃ）」という考え方は日本人も学ぶべき所がありますね」「日本で生活している私達には知る事が出来ない貴重なお話を聞く事が出来ました」等のお言葉をいただきました。

最後になりましたが、ご多忙中にも拘らずご講演をいただきました深田実先生に厚く御礼申し上げます。

平成27年度 講演会

平成28年2月11日（木・祝）
16時30分～17時45分
名古屋観光ホテル 曙東の間
講師 中日新聞社取締役論説担当兼
東京本社論説室論説主幹
深田 実 氏
演題 「イスラムは怖いか」

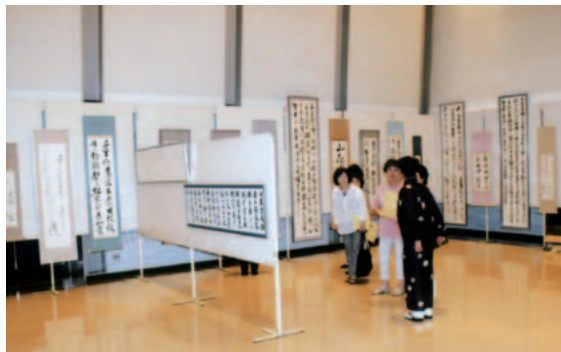


講師 深田実氏

濃 飛 支 部 創 立 三 十 周 年



交 流 会



記 念 支 部 展



記 念 講 演 会



初代支部長 故 永治秋聲先生

んぼば作業所の
子供達の太鼓演
奏もあり盛会の
中に三十周年記
念行事が終了致
しました。展覧
会を通じ、地域
の方に書道文化

今後書道を通じて会員・地域との交流を図
り、書写教育・芸術の向上を目指す活動を会員
と共に目指したいと思えます。

本部役員の方のご臨席を賜り総会を開催、続
いて記念講演は徳川美術館学芸部長の四辻秀紀
先生の「文房至宝・墨について」と題しての講
演を頂きました。夜十八時よりの交流会にはた

濃飛支部は岐阜県東濃飛驒地域の中津川市・
恵那市・下呂市と広域に亘り活動しています。
毎年支部展・講演会などの研究会・交流会等
の活動を、三市持ち回りで一年毎に順次交替し
て開催しています。

にて理事長・副理事長の作品に加え、会員の
日展作品、更に役員は二点を出品し合計五十二
点の作品が会場を賑わしました。特に役員二点
目の作品は自由奔放な作品で漢字・かな・墨絵
に自詠歌などもあり来場者を楽しませていま
した。

仙童先生が平成七年より四年間、第三代目安江
子猷先生が平成十一年より四年間、第四代目永
治秋聲先生が平成十五年より一年間、第五代目
市川恵一先生が平成十六年より五年間、第六代
目中川貴舟先生が平成二十一年より四年間務
められました。第七代目として現支部長の石原
馨風が平成二十五年より引き継いで務めていま

支部展は恵那文化センター
で実施致しました。

の一端を閲覧して頂くことが出来たかなと思
います。また役員・会員の方の多大なるご協力に
厚く感謝申し上げます。

濃飛支部三十周年記念展によせて

濃飛支部長 石原 馨 風

平成二十七年七月二十四日

より三日間、濃飛支部三十周
年記念展を開催しました。併
せて二十六日には記念講演、

総会、懇親会を開催致しまし
た。記念行事は約一年前より

支部らしい企画を、という事
で実施致しました。

支部展は恵那文化センター

にて理事長・副理事長の作品に加え、会員の

日展作品、更に役員は二点を出品し合計五十二

点の作品が会場を賑わしました。特に役員二点

目の作品は自由奔放な作品で漢字・かな・墨絵

に自詠歌などもあり来場者を楽しませていま

した。

本部役員の方のご臨席を賜り総会を開催、続

いて記念講演は徳川美術館学芸部長の四辻秀紀

先生の「文房至宝・墨について」と題しての講

演を頂きました。夜十八時よりの交流会にはた

んぼば作業所の
子供達の太鼓演
奏もあり盛会の
中に三十周年記
念行事が終了致
しました。展覧
会を通じ、地域
の方に書道文化

第66回 中日書きぞめ展

出品点数 16,031点

会期 平成28年3月20日(日)・21日(月・振休) 会場 ナディアパーク 2階 アトリウム

第六十六回中日書きぞめ展を終えて

教育部長 後藤 啓太

平成二十八年三月二十日(日)・二十一日(月・振休)、名古屋矢場町西、ナディアパーク二階アトリウムにて、応募点数一六、〇三一点の頂点である文部科学大臣賞から奨励賞まで上位一、三六二点の作品を展示しました。

本年は好天に恵まれ、二日間で五千人を超える方々にご高覧いただきました。会場にいらっしやる方は、出品者とそのご家族だけではなく、ナディアパークに買物に来られた方、特に大学生、また幼いお子さんをお連れの若いご夫婦などです。

皆さん一様に作品の完成度、素晴らしさに感動され、「日本の伝統文化である『書』は大切ですね」と感想をいただきました。また、学生時代に書を勉強したことを思い出された方もいらしたようです。

「素晴らしい作品ばかりで感動しました」「学生の作品とは思わなかった」と多くの称賛をいただきました。

出品された学生の皆さんが、将来の中日書道会の一員として書の発展を担っていただくことを願います。この学生展を卒業して、六月の本展である中日展に出品される方も増え、この書きぞめ展が意義あるものになっていることがうかがえます。

最後になりましたが、休日にも関わらず、多くの協賛会員の皆様に陳列撤去をお手伝いいただきましたこと御礼申し上げます。

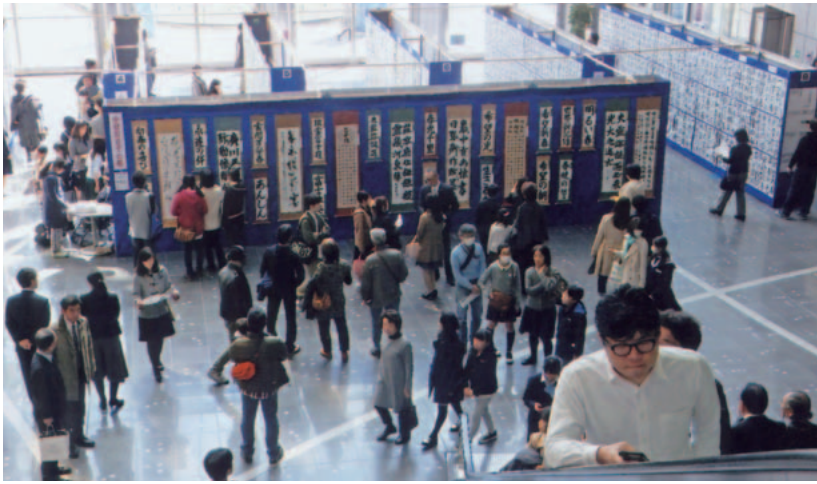
これからも本会の学生パワーを発信して参ります。皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。

〈審査〉

平成二十八年一月三十日(土)、本部に於いて四十四名の審査員によって厳正に審査され、入賞・入選者が決まりました。



ナディアパーク3階エスカレーターより撮影



樽本樹邨名誉副会長が寄贈

『騰龍』

説苑談叢云 騰龍乘雲而舉

《作品制作にあたっての作者の意図》
筆を引くのではなく、押し進めることで手ごたえのある力強い線を描くことを目指した。さらに、重厚で柔らかく深みのある線を大切にすることによって、肉太で気魄充満な表現をすることができたのではないかと。――
中日ドラゴンズ優勝の切なる願いを込めて――

樽本樹邨



中日ドラゴンズ球団創設80周年を祝し、「騰龍」を寄贈。作品は名古屋市東区のナゴヤドーム内「プライムワン」の入口に掲額。

第三十三回 読売書法展
第六十八回 毎日書道展
当番審査員

第三十三回 読売書法展
第六十八回 毎日書道展

◇審査顧問 黒野 清宇

◇特別賞選考委員

黒野 清宇 樽本 樹邨

◇当番審査員

〈漢字部門〉

天野 白雲 伊藤 昌石

伊藤 仙游 加藤 子華

佐藤 慶雲 菅生 攝堂

世古口大虚 高橋 秀箭

〈かな部門〉

近藤 浩乎 山本 雅月

〈篆刻部門〉

磯貝 弘子 鈴木 立齋

◇当番審査員

〈漢字Ⅰ類〉 山脇 三枝

〈漢字Ⅱ類〉 籠瀬 提花

〈近代詩文書〉 安藤 滴水

川合 玄鳳

原田 凍谷

〈大字書〉 波切 童州

波切 童州

平田 蘭石 先生

岐阜県芸術文化顕彰ご受賞

平成二十八年三月二十三日

岐阜県知事表彰

〈予告〉

平成28年度 総 会

第66回 中日書道展 入賞・入選者授賞式 他

平成28年6月12日(日) ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催予定

改組新第二回日展東海展

中日賞を受賞して



山際 雲峰

このたび、改組新第二回日展において栄誉ある中日賞をいただき恐縮至極に存じます。これもひとえに師ならびに、会の皆様方のご厚情と心より感謝申し上げます。

書を始め四十八年、日展初入選は三十三歳でした。振り返ればただただ、歳月の速さを痛感する次第です。

今回の作品の制作において、最も苦慮したのが題材選びでした。数か月かけて試行錯誤の末、やっと「薛瑩」詩に辿り着きました。

作品は格調高く、古典をもとに個性が表現できることを念頭におき、中国・六朝時代の楷書をモチーフに起筆・運筆に注意を払い、古典の特徴である野性的で素朴な結体に強靱な線質を以て表現できたことが評価され、幸いに存じます。

今後も気力・体力の続く限りチャレンジしていく所存ですので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

薛瑩 詩

累世蒙恩曾無髮髻頽此顏
登膽彼舊寵孰能忍媿夙夜
反側無報萬分臣實与居

平成二十七年 度 公益社団法人 中部日本書道会 第四回理事会内容 (より抜粋)

日時 平成二十八年二月十一日(木・祝)
場 所 名古屋観光ホテル

平成二十七年 度 公益社団法人 中部日本書道会 第四回理事会 次 第

- 一、開会のことば
- 二、理事長あいさつ
- 三、議 事

- 第一号議案 平成二十八年度事業計画(案)に関する件
 - 第二号議案 平成二十八年度予算(案)に関する件
 - 第三号議案 資産の運用に関する件
 - 第四号議案 諸規程の制定並びに改定に関する件
 - 第五号議案 評議員の承認に関する件
 - 第六号議案 正会員の承認に関する件
 - 第七号議案 審査会員の承認に関する件
- 四、閉会のことば

第一号議案 平成二十八年度事業計画(案)に関する件

I 書道普及振興事業(公益目的事業 1)

一 展覧会等の事業

本会は、出展作品の審査を行う公募展である中日書道展を企画運営することによって、従来より、書道文化の普及発展に寄与していることは周知されていることである。加えて、初心者、若年層および地域の書道愛好家のために、これにふさわしい書道展の開催も必要不可欠である。そのため本会では、中日書きぞめ展、一宮支部学生展、半田支部学生書道展、西三河支部学生展を出展作品審査を行う公募展として開催する。

また、書道芸術の発展のためには、書の技量の上達だけでなく、書に関する幅広い教養の習得も必要である。このため、本会では、書道教育研修会、公開講座、講演会、研修会を実施する。

(1) 中部日本書道会第六十六回中日書道展

会期 平成二十八年六月七日～二十六日
会場 愛知県美術館・名古屋市民ギャラリー栄・名古屋博物館・電気文化会館

- (2) 第六十七回中日書きぞめ展
会期 平成二十九年三月十九日～二十日(予定)
会場 ナディアパーク アトリウム(予定)
中日支部学生書道展
- (3) 第四十五回一宮支部学生書道展
会期 平成二十八年十一月二十六日～二十七日
会場 一宮スポーツ文化センター

- 第五十二回半田支部学生書道展
会期 平成二十八年七月
- 会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
- 第四十九回西三河学生書道展
会期 平成二十八年七月八日～十日
会場 岡崎市美術館

- (4) 第二十八回書道教育研修会
日時 平成二十八年十月十日
会場 名古屋国際センター
- (5) 第二十回公開講座
日時 平成二十八年十一月六日
会場 電気文化会館イベントホール

- (6) 講演会
本部(二十九年二月)、
一宮(二十九年二月)、
半田(二十九年三月)、東三河(七月)、
西三河(二十九年三月)、濃飛(七月)、
岐阜(五月)
- (7) 研修会・講習会
半田(十一月)、東三河(十月)、
中南勢(五月)、岐阜(十一月)

- (8) 支部公開講座
半田 十月
会場 半田市福祉文化会館

- II 福祉事業(公益目的事業 2)

本会では、従来より社会福祉法人への募金による社会事業への協力奉仕を行っている。引き

続き本年度も、会員のうち有志から募金を募り、社会福祉法人中日新聞社会事業団および社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団に寄付をおこなう。

- (1) 二〇一六年チャリティー愛の募金
—しあわせ薄い人々に愛の手を—
期間 平成二十八年十月～十二月

III その他の事業(相互扶助等事業)

本会は、出展作品の審査を行わない公募展及び会員向け書道展として、書展及び各支部において支部展・支部選抜展を行う。
また、会員を対象として、本部講演会を開催して、会員の資質向上に寄与することとする。
支部においては、会員向け講習会・講演会を行い支部会員の資質向上に努めている。

このほか、本会では会員の研鑽・資質向上のため、本部および各支部において記念事業、研究研修会、研修旅行を行う。
会員の福利厚生のために、必要とする事業を行う。

- (1) 出展作品の審査を行わない公募展及び会員向け展覧会
- ① 第二十五回記念寿書展
会期 平成二十八年十一月一日～六日
会場 電気文化会館

- ② 支部展・支部選抜展
第六十二回一宮支部展
会期 平成二十八年十一月二十六日～二十七日
会場 一宮スポーツ文化センター
- 第五十回記念半田支部展
会期 平成二十九年三月二十五日～二十六日
会場 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)

- ③ 第四十九回西三河支部会
会期 平成二十九年三月一日～三月五日
会場 刈谷市美術館
- ④ 東三河支部四十周年記念展
会期 平成二十八年六月二十八日～七月三日
会場 豊橋市美術館

- ⑤ 東三河支部選抜展
会期 平成二十九年二月
会場 豊橋市民文化会館
- 濃飛支部展
会期 平成二十八年七月一日～三日

- ⑥ 中津川市にぎわいプラザ
北勢支部展
会期 平成二十八年七月十五日～十七日
会場 四日市文化会館
- 第三十回中南勢支部展
会期 平成二十九年一月二十八日～三十一日
会場 三重県美術館

- ⑦ 岐阜支部展
会期 平成二十八年九月
会場 岐阜市民会館
- (2) 講演会
北勢(十一月)、中南勢(十月)
講習会
北勢(二十九年二月)
- (3) 研究会
西三河(二十九年三月)
- (4) 研修会
本部(史跡探訪研修旅行他・八月)、
一宮(十月)、半田(十一月)、
西三河(十月)、東三河(十月)、
濃飛(十月)、北勢(十一月)、
福利厚生事業

- ① 塾総合保険
- ② 会員交流会
老人会色紙贈呈
半田支部においては、例年、地域(半田市・阿久比町・東浦町・武豊町・美浜町・南知多町)の老人会に対して色紙を贈呈して敬老の意を表している。
- ③ 期日 平成二十八年八月
- ④ その他各種事業
- ⑤ 書道に関する調査研究および発表
- ⑥ 書道教育者の推薦書および看板の交付
- ⑦ 外国研修旅行補助
- ⑧ 組織拡大事業
- ⑨ 会員章(門章・襟章)の交付
- ⑩ 広報活動事業
- ⑪ 中日会報・支部会報の発行
- ⑫ ホームページによる情報提供
- ⑬ 資料文献収集保存事業
- ⑭ 書道功労者等顕彰事業
- ⑮ その他

第二号議案 平成二十八年度予算(案)に関する件

平成28年度 収

支 予 算 書 (案)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
公益社団法人 中 部 日 本 書 道 会

備 考

科 目	28年度 予算額 (A) 円	27年度 予算額 (B) 円	増減 (A) - (B) 円	説 明
1. 事業活動収支の部				
① 事業活動収入	73,500	7,500	66,000	3000万×0.35%×0.7
② 特定資産運用利息収入	250,000	19,000	231,000	5600万×0.025%、国債利息
③ 1. 会費収入	12,936,000	12,584,000	352,000	評議員以上11,000円×1176人
2. 正会員会費収入	18,480,000	18,739,000	△259,000	正会員7000円×2840人
3. 協賛会費収入	2,640,000	2,865,000	△225,000	正会員5000円×582人
4. 協賛費収入	1,150,000	1,125,000	25,000	協賛会員25000円×46件
④ 1. 事業活動収入	35,206,000	35,313,000	△107,000	
2. 事業活動収入	770,000	680,000	90,000	3000円×200点、会員外4000円×20点
3. 支部学生展収入	5,778,000	5,735,000	43,000	支部別内訳参照
4. 支部選技展収入	375,000	300,000	75,000	支部別内訳参照
5. 支部研修会収入	2,236,000	2,261,000	△25,000	支部別内訳参照
6. 支部研究費収入	200,000	160,000	40,000	支部別内訳参照
7. 支部選技展収入	100,000	100,000	0	25000円×4件
8. 支部選技展収入	350,000	350,000	0	3000円×100人
9. 支部選技展収入	300,000	300,000	0	3000円×150人
10. 支部選技展収入	300,000	300,000	0	2000円×100人
11. 支部選技展収入	75,000	75,000	0	3000円×100人 (有料25人)
12. 支部選技展収入	48,035,000	48,247,000	△192,000	中日展収入内訳参照
13. 支部選技展収入	5,824,000	5,824,000	0	中日展収入内訳参照
14. 支部選技展収入	4,500,000	4,500,000	0	400円×16000点 (整理費割引)
15. 支部選技展収入	15,529,000	16,500,000	△971,000	
16. 支部選技展収入	2,629,000	2,270,000	359,000	
⑤ 1. 寄附金収入	93,493,500	93,185,000	308,500	支部別内訳参照
⑥ 1. 普通預金受取利息収入	1,500	1,500	0	
2. 現金預金受取利息収入	0	900,000	△900,000	27・28年度発行
3. 現金預金受取利息収入	400,000	400,000	0	一宮 半田
4. 現金預金受取利息収入	345,000	95,000	250,000	
5. 現金預金受取利息収入	746,500	1,396,500	△650,000	
6. 現金預金受取利息収入	129,769,500	129,921,000	△151,500	
2. 事業活動支出				
① 1. 事業活動支出	1,486,000	1,486,000	0	
2. 事業活動支出	763,000	754,000	9,000	中日展・寿展
3. 事業活動支出	1,044,000	1,048,000	△4,000	各種謝礼
4. 事業活動支出	559,000	8,044,000	△597,000	賞品代・記念品代
5. 事業活動支出	10,376,000	167,000	△9,922,000	支部事業交際費
6. 事業活動支出	7,759,300	10,867,900	△3,108,600	作業時交通費
7. 事業活動支出	9,956,100	6,992,900	2,963,200	作業時食費
8. 事業活動支出	82,000	1,087,000	△1,005,000	バス
9. 事業活動支出	1,943,700	8,353,700	△6,410,000	クッキー
10. 事業活動支出	427,900	82,000	345,900	
11. 事業活動支出	7,362,000	1,943,700	5,418,300	
12. 事業活動支出	100,000	966,900	△866,900	
13. 事業活動支出	350,000	6,828,000	△6,478,000	会場使用料等
14. 事業活動支出	350,000	100,000	250,000	
15. 事業活動支出	3,846,000	320,000	3,526,000	支部事業支払会費
16. 事業活動支出	3,870,000	4,380,000	△510,000	看板作成等
17. 事業活動支出	566,000	3,870,000	△3,304,000	愛の基金による寄託
18. 事業活動支出	100,000	100,000	0	外国研修補助
19. 事業活動支出	566,000	566,000	0	ボラリニング大会
20. 事業活動支出	7,519,000	7,519,000	0	新聞
21. 事業活動支出	1,808,000	1,358,000	450,000	塾保険
22. 事業活動支出	1,536,500	388,000	1,148,500	若年層・書きぞめ表装料等
23. 事業活動支出	2,860,000	2,842,000	18,000	
24. 事業活動支出	15,500,000	16,500,000	△1,000,000	
25. 事業活動支出	2,756,000	2,370,000	386,000	
26. 事業活動支出	89,255,500	88,933,200	322,300	事業別内訳参照

支 部 別 内 訳	備 考								合 計
	一宮	半田	西三河	東三河	濃 飛	北 勢	中 南 勢	岐 阜	
1. 支部選技展収入	357,000	91,000	301,000	115,500	35,000	115,500	73,500	465,500	1,554,000
2. 正会員会費収入	756,000	378,000	766,500	259,000	59,500	217,000	210,000	906,500	3,552,500
3. 連合会費収入	127,500	137,500	172,500	85,000	47,500	57,500	25,000	65,000	717,500
合 計	1,240,500	606,500	1,240,000	459,500	142,000	390,000	308,500	1,437,000	5,824,000
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃 飛	北 勢	中 南 勢	岐 阜	合 計
支部選技展収入	920,000	1,789,500	1,532,000	960,000	120,000	160,000	420,000	600,000	6,501,500
支部学生展収入	1,525,000	1,350,000	2,903,000	0	0	0	0	0	5,778,000
支部選技展収入	0	0	0	375,000	0	0	0	0	375,000
支部選技展収入	860,000	405,000	350,000	0	161,000	285,000	0	175,000	2,236,000
支部選技展収入	0	0	0	200,000	0	0	0	0	200,000
支部選技展収入	1,190,000	0	0	378,000	300,000	200,000	261,000	300,000	2,629,000
利息収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	95,000	250,000	0	0	0	0	0	0	345,000
合 計	4,590,000	3,794,500	4,785,000	1,913,000	581,000	645,000	681,000	1,075,000	18,064,500
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃 飛	北 勢	中 南 勢	岐 阜	合 計
支部講演会費	131,000	63,000	68,000	60,000	55,000	92,000	174,000	159,000	802,000
支部講演会費	0	84,000	0	230,000	0	65,000	0	0	379,000
支部研究費	0	0	131,000	0	0	0	0	0	131,000
支部研究費	876,000	472,000	343,000	100,000	156,000	279,000	36,000	314,500	2,576,500
支部選技展費	0	0	0	375,000	0	0	0	0	375,000
支部選技展費	1,890,000	1,350,000	2,816,000	0	0	0	0	0	6,056,000
支部選技展費	332,000	1,467,000	1,381,000	960,000	180,000	169,000	286,000	488,000	5,263,000
色紙展費	0	129,000	0	0	0	0	0	0	129,000
普通振興事業費	350,000	0	0	0	0	0	0	0	350,000
周年記念事業費	0	0	0	200,000	0	0	0	0	200,000
支部祝賀会費	1,190,000	0	0	378,000	300,000	200,000	280,000	408,000	2,756,000
合 計	4,769,000	3,565,000	4,739,000	2,303,000	691,000	805,000	776,000	1,369,500	19,017,500
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃 飛	北 勢	中 南 勢	岐 阜	合 計
支部事務所費	1,061,500	570,000	930,000	270,000	102,000	200,000	195,000	1,142,500	4,471,000
積立金	70,000	50,000	300,000	0	0	30,000	0	0	450,000
積立金取崩	0	0	0	200,000	0	0	0	0	200,000
支部収支差額	-70,000	216,000	56,000	-500	-70,000	0	18,500	0	150,000

科 目	28年度 予算額(A) 円	27年度 予算額(B) 円	増 減 (A)-(B) 円	説 明
② 管理費	2,043,000	2,041,000	2,000	
1 理事	207,000	207,000	0	
2 支事	104,000	104,000	0	
3 支事	413,000	413,000	0	
4 支事	4,850,000	4,850,000	0	
5 支事	1,080,000	1,080,000	0	
6 支事	1,200,000	1,200,000	0	
7 支事	1,780,000	1,705,000	△75,000	
8 支事	1,215,000	1,115,000	100,000	
9 支事	2,775,000	903,000	△1,872,000	
10 支事	2,027,000	2,237,600	△210,600	
11 支事	1,027,000	540,000	△487,000	
12 支事	609,000	540,000	△69,000	
13 支事	7,902,000	10,093,000	△2,191,000	
14 支事	355,000	468,000	△113,000	
15 支事	2,987,000	3,276,000	△289,000	
16 支事	166,779	56,452	△110,327	
17 支事	350,000	396,000	△46,000	
18 支事	6,676,000	6,646,000	△30,000	
19 支事	1,492,100	1,626,000	△133,900	
20 支事	200,000	50,000	△150,000	
21 支事	25,000	226,000	△201,000	
22 支事	226,000	226,000	0	
23 支事	1,585,000	1,585,000	0	
24 支事	50,000	50,000	0	
25 支事	33,000	18,000	△15,000	
26 支事	850,000	800,000	△50,000	
27 支事	330,000	379,200	△49,200	
28 支事	1,434,400	379,200	△1,055,200	
29 支事	0	0	0	
30 支事	42,000	37,000	△5,000	
31 支事	0	0	0	
32 支事	40,638,779	42,973,252	△2,334,473	
管理費	129,894,279	131,906,452	△2,012,173	
事業活動収入	124,779	1,985,452	△1,860,673	
II 投資活動収入				
1 ① 特定資産取得収入				
1 1 本誌記念事業	0	0	0	
2 2 定期預金	2,000,000	500,000	△1,500,000	
3 3 名簿費	0	30,000	△30,000	
4 4 支事	200,000	30,000	△170,000	
5 5 支事	2,200,000	530,000	△1,670,000	
2 ② 特定資産取得収入				
1 1 退職給付引当金	72,000	72,000	0	
2 2 本誌50周年記念	400,000	400,000	0	
3 3 設備補充	50,000	50,000	0	
4 4 支事	450,000	430,000	△20,000	
5 5 支事	500,000	0	△500,000	
6 6 支事	2,000,000	0	△2,000,000	
7 7 支事	3,472,000	952,000	△2,520,000	
8 8 支事	1,272,000	422,000	△850,000	
III 財務活動収入				
1 1 財務活動収入	0	0	0	
2 2 財務活動収入	0	0	0	
III 財務活動収入	0	0	0	
IV 備前支	300,000	300,000	0	
1 1 当期	-1,696,779	-2,707,452	1,010,673	
2 2 前期	6,213,334	4,769,210	1,444,124	
3 3 次期	4,516,555	2,061,758	2,454,797	

(注) この収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に關する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)の記載の様式による。

科 目	28年度予算	27年度予算	増 減	説 明
中日展収入内訳				
1 審査会以上出品料	15,540,000	15,442,000	98,000	14000円×1110点
2 依囑・無鑑査出品料	12,600,000	12,600,000	0	12000円×1050点
3 二科出品料	8,730,000	8,730,000	0	9000円×970点
4 若年層出品料	5,110,000	5,600,000	△490,000	7000円×730点
5 入賞目録	3,050,000	2,850,000	200,000	5000円×610点
6 社中広告料	255,000	255,000	0	300円×850名
7 協賛店広告料	60,000	60,000	0	200円×300部
8 計	1,800,000	1,800,000	0	40000円×45件
9 計	910,000	910,000	0	35000円×26件
合計	48,055,000	48,247,000	△192,000	
事業別内訳				
1 寿喜展費	1,713,000	1,190,000	523,000	
2 講演講習会費	979,000	940,000	39,000	
3 支部研究費	379,000	379,000	0	
4 支部研究費	131,000	96,000	35,000	
5 支部研究費	2,576,500	2,641,700	△65,200	
6 支部研究費	375,000	300,000	75,000	
7 支部研究費	6,056,000	6,014,000	42,000	
8 支部研究費	5,263,000	4,645,500	617,500	
9 支部研究費	133,000	133,000	0	
10 支部研究費	772,000	772,000	0	
11 支部研究費	100,000	100,000	0	
12 支部研究費	335,000	335,000	0	
13 支部研究費	100,000	100,000	0	
14 支部研究費	316,000	366,000	△50,000	
15 支部研究費	2,009,000	2,318,000	△309,000	
16 支部研究費	1,075,000	1,105,000	△30,000	
17 支部研究費	2,461,000	320,000	△1,141,000	
18 支部研究費	200,000	1,111,000	△911,000	
19 支部研究費	268,000	747,000	△479,000	
20 支部研究費	30,000	30,000	0	
21 支部研究費	60,000	60,000	0	
22 支部研究費	534,000	655,000	△121,000	
23 支部研究費	35,105,000	34,734,000	371,000	
24 支部研究費	6,089,000	6,027,000	62,000	
25 支部研究費	4,313,000	4,313,000	0	
26 支部研究費	631,000	631,000	0	
27 支部研究費	15,500,000	16,500,000	△1,000,000	
28 支部研究費	2,756,000	2,370,000	386,000	
合計	89,255,500	88,933,200	322,300	
管理費目別内訳				
1 会議費	4,531,000	4,951,000	△420,000	
(1) 6月総会	1,904,000	1,989,000	△85,000	
(2) 5月理事会	1,365,000	1,243,000	122,000	
(3) 2月理事会・評議員会	1,262,000	1,719,000	△457,000	
2 事務局費	25,860,000	24,239,452	1,620,548	
3 支部事務所費	4,471,000	4,428,800	42,200	
4 広報費	310,000	410,000	△100,000	
5 名簿費	5,280,000	6,900,000	△1,620,000	
6 名簿費	20,000	2,044,000	△2,024,000	
合計	40,472,000	42,973,252	△2,501,252	
事業及び管理合計	129,727,500	131,906,452	△2,178,952	

平成二十七年
第四回理事会 承認事項
新審査会員・新正会員の承認

第七号議案

審査会員の承認に関する件
公益社団法人中部日本書道会展
覧会開催規定第九条の規定によ
り、左記の者を審査会員として
の委嘱の承認を求める。

この承認は平成二十八年四月一
日付けとする。
※第五号議案にて、左記の二科審査
会員として承認された者は評議
員として承認を受けました。

●一科審査会員

第一部(四十名)

相川 千涯 阿部 卓城
荒木 泉蓉 安藤 美泉
伊藤 美扇 梅村 彩香
塩谷 秀蘭 大木 青嵐
大野 樹抱 奥田 蘭庭
奥村 朱華 尾崎 紫光
小澤 佳路 片原 秀園
北岡 青滲 倉橋 華仙
厨 柳青 後藤 光飛
近藤 継華 庄田 華鳳
白木 紫香 鈴木 静香
高崎 鳴琴 竹内 清泉
都筑 聖園 角田 紫苑
戸崎 翠虹 中川 瑞玉
中村 曾南 新美 秋鳳
萩野 湖翠 林 天翔
原 霞扇 藤田 寒樹
松崎 青漣 三浦 景波
宮部 采蓮 毛利 暁草
森 政子 吉田 桃花
久徳 蓬香 小島 瑞月
鈴木真理子 清水美智子
田村 泉舟 津田 壽美
萩原 祐子 本田 焯雲
三宅 杞璋
第三部(十名)
浅野 芳柳
伊高 美秀

●二科審査会員

第一部(五十一名)

荒川 璃華 石川 明加
伊藤 草華 今井 静湖
岩越 勝子 江川 翠苑
川崎 清吟 川出 泉麗
河原崎 坡青 岸田 松峰
清沢 華舟 近藤 青洸
櫻木 吟對 笹本 汀風
佐藤 清華 四井 静華
柴田 桃花 鈴木 悠水
鈴木 芳春 瀬古 麗峰
関谷 蒼玄 滝本 白峰
世古口 玉扇 武田 優璽
竹田 景汀 中村 美舟
田中 千翠 西垣 美茜
南原 宏風 馬場 美風
丹羽 清郷 藤澤 秋嶺
早川 杏花 藤野 麗雪
藤野 秀代 間瀬 三雪
松岡 永律 松本 紅華
光澤 秋芳 望月 希彩
森 清湖 矢島 秀連
山内 香霖 山内 山抱
山口 蕙世 山田 紅照
山田 青舫 山本 光慶
渡辺 玉苑 大江 峯子
第二部(八名)
今枝 節峰

第三部(十七名)

秋松 秀玲 荒川 清香
大塚 裕子 齋藤 翠苑
佐藤 緑風 式守 白萩
重見 梢玉 谷利 紫鳳
對馬 紫邑 寺澤 景星
丹羽 彩霞 花井 清水
伴 晋水 廣澤 光雪
福谷 紅華 水野 美千
吉田 香雪
第四部(四名)
近藤 宏子 角谷 弘子
都築 心扇 半田 博子
第五部(四名)
浅野 春泉 真田 九龍
為水 剛 永谷加代子

第六号議案

正会員の承認に関する件
公益社団法人中部日本書道会定
款第五条一号により、左記の者
を正会員としての承認を求める。
この承認は平成二十八年四月一
日付けとする。

●第一部(一三三名)

青山 和生 秋田 花泉
秋田 清芳 在藤 花昌
飯塚 珠穂 池田 翠恵
石川 玲燕 磯村 小園
伊藤 玉燕 伊藤 春水
伊藤 真由子 伊藤 悠石
伊藤 涼子 稲田 清婉
稲吉 邦子 井本 ゆかり
岩田 久美子 上杉 多賀子
榎本 朋子 大石 将広
大津 翠影 奥村 まゆみ
奥村 真夕美 尾崎 涼舟
納村 翠玉 寛 多恵子

●第二部(十六名)

阿部 ひろみ 安藤 香波
伊東 富士子 大武 英子
川本 泉 畔柳 佳奈
栗名 孝枝 杉田 孝子
中田 明美 西尾 雅子
西川 允子 野尻 紀子
林 澄江 本田 ふみ子
水谷サト子 鷺野 嘉子

●第三部(三十二名)

浅井 尚風 浅井登志子
浅本 瞳 天谷 結花
伊苺 恭子 池田 朔月
植田 琴風 大島 佑斗
岡 俊郎 小川 順子
小栗圭太郎 梶田 汐里
加藤 秋穂 加藤 昌司
神村 なな美 河村 昌司
近藤 芳玉 高橋 花柊
田口 ゆかり 多田 祐子
谷川 由希子 辻 由起
寺西 恒流 内藤 赫子
中川 莉枝 中谷 愛音
原野 佳子 松原 教雄
御崎 勲 溝口 乃佳
山中 好輝 横井 吟虹

●第四部(五名)

小泉 路子 祖父江 賀代
橋本 美恵子 矢野 智美
横井 葉子

●第五部(十三名)

磯村 育治 長田 正嗣
小池 清子 小林 有希
佐々木 清香 島田 英明
杉浦 生恵 中野 麦愛
中村 紀久 平林 和香
古田 富美子 増井 茂
山内 昂波

※第三号議案 資産の運用に関する件、第
四号議案 諸規程の制定並びに改定に関
する件は今回の会報には未記載です。

第六十六回 中日書きぞめ展入賞者

文部科学大臣賞

中学三年 石黒 萌香

愛知県教育委員会賞

高校三年 河井亜津沙

東海テレビ放送賞

中学一年 川崎麗美花

愛知県知事賞

高校三年 石黒明日香

小学六年 安藤 碧唯

小学五年 丹羽美紗姫

岐阜県教育委員会賞

中学二年 伊藤 颯

高校一年 山本 祐輔

中日新聞社賞

高校一年 小林 日向

岐阜県知事賞

高校一年 大竹 杏奈

小学四年 野口 瑞葵

中学三年 小栗 礼登

中学一年 西垣 朱梨

中学三年 祖父江彩花

小学五年 南山 香

三重県知事賞

高校二年 岡村実花子

小学五年 内田 藍

CBCテレビ賞

高校二年 宗 香織

小学三年 波多野熙秀

高校三年 熊崎 千佳

小学一年 小島 未来

名古屋市長賞

高校二年 岩間 早紀

小学六年 濱田 拓海

中学一年 永井 文楓

中日書道会賞

小学二年 新井本佳和

高校二年 久保さえ香

小学六年 戸崎 海

高校一年 深谷 侑以

小学五年 伊藤 なこ

小学四年 荻原 和馬

小学三年 今井 大地

小学四年 上野 友陽

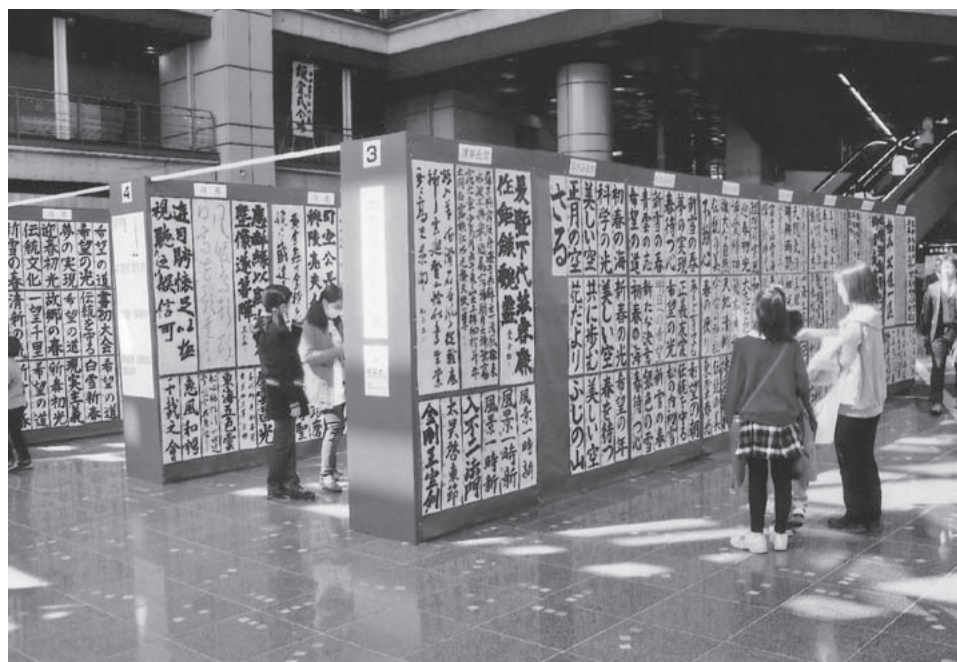
小学六年 中澤 皓晴

中学二年 加藤 夢捺

小学五年 安藤 誉純

小学四年 中内 美京

鈴木 瑛万



展 示 風 景

愛知県知事賞 高三 石黒明日香
 茲容麻任鉅鏃魏
 靈藏河東障 明香誌

愛知県知事賞 中二 伊藤 颯

博愛精神
 中二 伊藤 颯

愛知県知事賞 小四 宮崎 咲羽

春光千里
 四年 宮崎 咲羽

岐阜県知事賞 高一 大竹 杏奈

色子像
 大代和七年新誠無功言孫秋生新誠縣
 初言劉起祖二百人等敬造石像一區頭
 莊礼陸三賞敬願有願弟子等孫秋生記述
 現世奉養萬福雲歸派給 莊秋生記述

岐阜県知事賞 中一 西垣 朱梨

瑞雲富士山嶺
 中一 西垣 朱梨

岐阜県知事賞 小六 平本 啓恭

富士雄姿
 六年 平本 啓恭

三重県知事賞 高二 岡村実花子
 叢中負禹懷書
 日張衛作賦晨

三重県知事賞 小五 稲垣 亜優

希望の光
 五年 稲垣 亜優

三重県知事賞 小三 波多野照秀

生きたる力
 三年 波多野照秀

名古屋市長賞 高二 岩間 早紀

春高樓の花の宴
 小いふ不似あふふとやげの松枝花守り春の光守り

名古屋市長賞 中三 守山木乃芽

雲開万壑春
 中三 守山木乃芽

名古屋市長賞 小二 新井本佳和

あんしん
 二年 にいもとかな

名誉会長賞

○高校三年

山口詩央里
 島田 亮子
 真野 綾花
 川尻 真彩
 堀田奈葉恵

○高校二年

佐橋 南美
 奥村 和
 福田 梨乃
 嶋田 雅
 中村南名子

○高校一年

早川 舞
 加藤 綾乃
 千賀 佳菜
 佐原 由莉
 細野 日向
 水野 百花
 太田 葉乃
 福島 峻太

○中学三年

大橋明日香
 石橋 茉悠
 山下 若奈
 野田 瑞希
 吉田あつみ
 伊藤 優花
 安藤 裕基
 太田 遥
 村尾 亜子
 中村 安希
 鈴木新之介
 岩谷 梨瑚
 城内 薫乃
 山田 菜摘
 山本 美風
 太田 里菜

○中学二年

河村 紗希
 池田 朋奈
 尾関あやの
 辻本 望叶
 村瀬 智紀
 北野 愛恵
 齋藤 清香
 石井 花
 長野 成秀
 加賀 文野
 柘植あゆみ
 加藤 美咲
 永家 汐菜
 小池南々葉
 加藤 空来
 勝澤 菜由
 山田あゆみ
 牛丸由理佳
 紀平 幹太
 石川 朋佳

○中学一年

飯野 恵美
 福井 萌花
 吉田 多映
 浅井 暖登
 千石 桃加
 田牧 朋花
 生駒 祐奈
 海田さりり
 北野 友葉
 長尾 利子
 村田 彩乃
 白鳥 未悠
 榊原 光輝
 有川 怜志
 ○小学六年
 池田 奈央
 桐山 広大
 早野 百香

○小学二年

犬飼 菜月
 稲葉 遼花
 永田 彩乃
 水野 杏胡
 神田あいり
 山田 友貴
 春日 愛実
 太田 礼美
 松村 千慧
 西井 和香
 齋藤 千花
 岡本 一希

○小学一年

伊藤 新菜
 田宮 朱梨
 佐藤いすず
 北村 美優
 河西津夢美
 熊野 悠希
 藤田 悠希
 中西 真尋
 太田 美住
 金子 芽生
 オモモレギエ・
 エリーシエ

○小学四年

大西 舞
 大澤ひかり
 栗田 花甫
 中村 柚果
 加子 華
 高橋美依奈
 寺本和香菜
 品田 悠多
 小宮 修平
 西村 修平
 森井 琴美
 岩村 知波
 安田 菜以
 高羽 菜月
 中村真由香
 井桁 晴香
 佐々木麻衣
 坂本 朝香

○小学三年

大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈
 ○高校一年
 大嶋 莉衣
 横山明日香
 大井 真裕
 北村 香澄
 坂井 瑛奈
 山田 奈央
 廣川 瑞樹
 山田 真穂
 大澤ひかり
 栗田 花甫
 中村 柚果
 加子 華
 高橋美依奈
 寺本和香菜
 品田 悠多
 小宮 修平
 西村 修平
 森井 琴美
 岩村 知波
 安田 菜以
 高羽 菜月
 中村真由香
 井桁 晴香
 佐々木麻衣
 坂本 朝香

○小学二年

杉山 美咲
 湯脇 絵理
 大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈
 ○高校二年
 杉山 美咲
 湯脇 絵理
 大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈

○小学一年

中谷 愛音
 中村 結衣
 小林 加奈
 杉浦 果奈
 神田あいり
 山田 友貴
 春日 愛実
 太田 礼美
 松村 千慧
 西井 和香
 齋藤 千花
 岡本 一希

○小学五年

伊藤 新菜
 田宮 朱梨
 佐藤いすず
 北村 美優
 河西津夢美
 熊野 悠希
 藤田 悠希
 中西 真尋
 太田 美住
 金子 芽生
 オモモレギエ・
 エリーシエ

○小学四年

大西 舞
 大澤ひかり
 栗田 花甫
 中村 柚果
 加子 華
 高橋美依奈
 寺本和香菜
 品田 悠多
 小宮 修平
 西村 修平
 森井 琴美
 岩村 知波
 安田 菜以
 高羽 菜月
 中村真由香
 井桁 晴香
 佐々木麻衣
 坂本 朝香

○小学三年

大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈
 ○高校一年
 大嶋 莉衣
 横山明日香
 大井 真裕
 北村 香澄
 坂井 瑛奈
 山田 奈央
 廣川 瑞樹
 山田 真穂
 大澤ひかり
 栗田 花甫
 中村 柚果
 加子 華
 高橋美依奈
 寺本和香菜
 品田 悠多
 小宮 修平
 西村 修平
 森井 琴美
 岩村 知波
 安田 菜以
 高羽 菜月
 中村真由香
 井桁 晴香
 佐々木麻衣
 坂本 朝香

○小学二年

杉山 美咲
 湯脇 絵理
 大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈
 ○高校二年
 杉山 美咲
 湯脇 絵理
 大谷 遥香
 南谷恵里佳
 可兒麻衣子
 手塚 彩
 松中 杏奈

○小学一年

鈴木 愛奈
 小島 康裕
 都筑 杏奈
 竹元 綾乃
 柴田りの
 塩平 日和
 稲垣 萌美
 高松 宣道
 篠田 めい
 堀田 ひな
 浜田 瑠音
 石黒 芽里
 渡邊帆乃花
 大竹 汐緒
 笠原 健
 湯脇 舞
 野田明咲輝
 有島 愛花
 稲川 実来
 渡辺 充希
 石島 史織
 棚橋 史佳
 橋本 朋香
 橋本 朋香
 山本 桃花
 落合 麻裕
 蜂谷 葉花
 西出 光希
 岩泉 怜
 森田 樹
 水谷麻里愛
 新山 佳穂
 佐藤 舞奈
 岩田 千明
 青鹿 由依
 間瀬明日花
 田中 楓乃
 柴田 留奈
 庄田 乃絵

理事長賞

○高校三年
 鈴木 智子
 田代 京香
 宇都 愛梨

愛知県教育委員会賞 高三 河井亜津沙

魏盛誠 奕靈林誠遠必表光大之迹宏功既敦久樹
希世之作自焚林改火千溪綴珠之悲慧
釋迦像 日曆摩哈生街道蓋之為是以應真悼三泰
降法船 之唐憑送騰空以刊像且墜下代茲容前住
鉅鼓鏡靈蘇河東釋法船 魏盛誠 奕靈林誠遠必表光大之迹宏功既敦久樹

愛知県教育委員会賞 中一 安藤 碧唯

希望新春
中 安藤 碧唯

愛知県教育委員会賞 小六 稲垣 入葉

希望の朝
六年 稲垣 入葉

岐阜県教育委員会賞 高一 山本 祐輔

廣川玉賀蘭汗造
彌勒像願令 祐輔 啓

岐阜県教育委員会賞 中二 菊島恋優姫

永遠の絆
中二 菊島恋優姫

岐阜県教育委員会賞 小四 野口 瑞葵

共に歩む
四年 野口 瑞葵

三重県教育委員会賞 中三 祖父江彩花

世界新記録
中三 祖父江 彩花

三重県教育委員会賞 中二 西尾 友花

春暁の誓言
中二 西尾 友花

三重県教育委員会賞 小五 内田 藍

明るい春
五年 内田 藍

名古屋市教育局賞 高三 熊崎 千佳

桃李花陰は是秋高湖
山月月交鮮好 千佳 啓

名古屋市教育局賞 中一 古怒田愛美

初春の喜び
中一 古怒田 愛美

名古屋市教育局賞 小六 濱田 拓海

夢の実現
六年 濱田 拓海

寺嶋 湖々
○小学六年 松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

推薦

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学一年 松本 星七
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

○小学二年 高見 日咲
日置 永麻
後藤 謙心
杉浦 鉄朗
篠田 愛華
篠田 裕梨
村上 七菜
佐藤 莉沙
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学三年 菅田 愛華
村上 裕梨
佐藤 七菜
早川 日菜
木村 日菜
伊藤 優花
渡邊 佑唯
○小学四年 藤澤 亨
田中さくら
土屋 加恵
中村 寧々
逸見 琴子
河崎 友花
榊田 梨奈
恒川 奈弓
高垣 柊志
杉本 創哉
岸 馨子
○小学五年 杉本 創哉
岸 馨子
○小学六年 寺嶋 湖々
松本 麻那
高畑 柚里
稲田 瑞穂
瀨口 結風
高橋うらら
近藤 美帆
藤塚 朋美
緒方 美波
大野 里菜
山本 恵大
奥村 紀香
鶴口 夏菜
鈴木佐和子
澤 あかり
太田 菜月
西脇 可奈
野村 奈央
加藤 百華
光澤 華純
加藤 翔汰
加藤 南
西野ちなせ
寺尾あかね
早川 幸穂
茨木 真白
田中かりん
久田満里奈
木内 愛弓
本田菜々子
前田 萌華
青柳実祐希
炭竈 朱音
増田 朱莉
明壁 未侑
龍尾 柚香
山川有由奈
村田 妃優
池田安里紗
松本 佳穂
後藤亜梨沙
小瀬真里奈
河瀬 菜生

中日書道会賞 高二 久保ささ之香
夫靈跡誕遊必表
光大之迹玄

中日書道会賞 高一 深谷 侑以
湖山雲行香木鳴鶴影考亞礫茶加版
堂增影粉紅藥糖粒珠光便線櫻粒石
杜深尔果道後村新三園野大人詩以

中日書道会賞 中三 今井 大地
四海生春風

中日書道会賞 中三 梶田 夕貴
雲龍遠飛駕

中日書道会賞 中二 加藤 夢捺
龍翔雲起

中日書道会賞 中二 鈴木 瑛万
新春福祿寿

中日書道会賞 中一 川崎麗美花
花鳥風月

中日書道会賞 小六 伊藤 桜音
白雪連峰

中日書道会賞 小六 小笠原花菜
希望の道

中日書道会賞 小五 丹羽美紗姫
太平の春

中日新聞社賞 高一 小林 日向
海に雲をたのしみ
山に花をたのしみ

中日新聞社賞 高一 浅野由希恵
東郊迎春

中日新聞社賞 高一 塩澤 怜華
今日別席免由故中只稍
百爾將任之玉粒閑練

中日新聞社賞 中三 小栗 礼登
太僧衆數

- 中川 優衣 西原 万里 舟橋かりん 山崎 悠雅 前田明日香 宮崎 祐衣
- 谷 優来 大倉 沙藍 谷田 有紀 加藤 美里 堤 勇志 石川 諒一
- 川本 佳澄 横地真以子 弓 義直 中谷 莉音 門前 美佑 加藤 彩水
- 加藤 隼人 森 晴香 小川 莉央 黒沢 菜美 名知萌々香 藤谷 京香 中村 葵
- 藤田 小夏 柴山 隼瑠 長坂 康貴 後藤菜の子 菅原 朱莉 井澤 仁平 富田 千愛
- 重松 流布 榎倉 彩乃 内田 菜月 廣瀬 佳歩 上田 侑澄 坪根 里紗
- 石川 優奈 大野 楓華 山口紗也加 廣瀬 千乃 加藤 千乃 鈴木 淳也 小野木美和
- 木下紗矢香 山川優華子 北野 愛珠 二宮ひかる 高阪 遥 林 彩寧 武藤 里桜 中田 真衣 木村 玲菜 尾内 大和 都築 由愛
- 鈴木 麻椰 重松 想葉 都築 祐賀 江川せいな 江川 心茜 今村 綺希 谷口 翠
- 神野愛理奈 西村 東希 對島 綾音 上野 涼葉 長尾 真子 久野 愛美 安藤 萌梨 鈴木 莉乃 星野 遥 宮本 芽衣 山下 鈴菜 椛山 真衣 岩下 菜穂 西川英那乃 野村 圭都 横井 怜奈 杉江 明音 岩本 純忠 今藤 千裕 渡邊 晴太 伊藤 ゆいな 伊藤 ゆいな
- 中学一年 森 彩奈 齋藤はるか 小野澤奈映 梅村 美香 植杉 紗蘭
- 黒川 翼 水野 杜彦 吉川 雲母 阪上 珠基 河合菜々子 山田 琴里 安江 奏南 横井佳菜子 鈴木 美結 小林 慶翔 田所 瑞希 加藤 麻衣 久野 智子 後藤 拓真 伊藤 由乃 前田 果那 堀田 菜月 宮本 桃子 加藤 遥菜 鈴木 さくら 服部 颯華 奥田 由貴 宮崎 梨乃 赤塚 瞳 溝口 大 南山 ゆり 長谷川真都 近藤 葵 堀田 菜月 伊藤 由乃 三原 遥 岩内ひかり 水谷 円香 飯西 司 浅井 香澄 石原永実菜 高橋 優太 縣 優希 森永 ゆず 野崎 恭子 宮田 望祿 金野 信哉 足立 陸 花田 燎 松山 心海 石原永実菜 高橋 優太 縣 優希 森永 ゆず 伊藤 綾花 倉地みのり 恒川 結菜 堀内 沙姫 池津 杏美 宮崎 風花 竹本 有那 伏見 紗英 柴垣 結菜 岩田 恵里 奥村 莉名
- 小学五年 市川 果凜 大橋 綾乃 岩田 尊斗 多湖 由海 松波 倫子 山田 莉帆 柳澤 心那 山口 瑛士 山口 純玲 杉方 凜香
- 小学四年 柴田 拓昂 岡田 由香 三輪千紗都 宮崎 莉虹 高谷允佐年 伊藤 綾花 倉地みのり 恒川 結菜 堀内 沙姫 池津 杏美 宮崎 風花 竹本 有那 伏見 紗英 柴垣 結菜 岩田 恵里 奥村 莉名
- 小学三年 細野 春菜 吉原 裕歩 丹羽 秋乃
- 小学二年 佐藤 颯 杉村 蓮里 三浦 流生 八卷 里咲 小坂 幸慈 西村紗有美 佐橋 苑華 関戸 亜利
- 小学一年 前川 椿 波多野結万
- 奨励賞 高橋 三年 細野 春菜 吉原 裕歩 丹羽 秋乃

中日新聞社賞 中三 松下ちひろ
陽生天地春

中日新聞社賞 中三 池内 友音

中日新聞社賞 中三 池内 友音
至誠の精神

中日新聞社賞 中二 浅見 りこ

中日新聞社賞 中二 浅見 りこ
東天五色雲

中日新聞社賞 中二 山田 千紗

中日新聞社賞 中二 山田 千紗
東雲春光

中日新聞社賞 中二 鈴木亜紗花

中日新聞社賞 中二 鈴木亜紗花
新雪銀世界

中日新聞社賞 中二 加藤あゆみ

中日新聞社賞 中二 加藤あゆみ
雲龍遠飛駕

中日新聞社賞 中二 小島 未来

中日新聞社賞 中二 小島 未来
不屈の精神

中日新聞社賞 中一 永井 文楓
友愛精神

中日新聞社賞 中一 安藤有里奈

中日新聞社賞 中一 安藤有里奈
温故知新

中日新聞社賞 中一 日野 夏歩

中日新聞社賞 中一 日野 夏歩
瑞麟祥鳳

中日新聞社賞 中一 政井 莉歩

中日新聞社賞 中一 政井 莉歩
伝統と文化

中日新聞社賞 小六 戸崎 海

中日新聞社賞 小六 戸崎 海
新春の旅

中日新聞社賞 小六 伊藤 なこ

中日新聞社賞 小六 伊藤 なこ
清新の気

中日新聞社賞 小六 上野 友陽

中日新聞社賞 小六 上野 友陽
伊勢志摩

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小島 有未 | 中西 誠 | 松村 怜奈 | 鈴木 敦也 | 鈴木 ことか | 荒川 公寛 | 三好くるみ | 近藤 聖 | 池田美菜子 | 上野 知哉 | 松本 紗南 | 徳永 陽帆 | 坂野 遥香 | 飯沼 咲衣 | 大橋 知生 | 小椋 愛実 | 三浦礼依菜 | 加藤 優帆 | 落合 輝 | 越水 菜月 | 中村 峻弥 | 高木 百花 | 小川裕里子 | 松尾由香里 | 佐藤 七香 | 桐山 彩華 | 高山 彩華 | 加藤 由真 | 丹羽真奈美 | 大橋 拓美 | 利川友愛歌 | 井上 みき | 岩下 風花 | 加川 彩乃 | 右高 礼奈 | 齋藤 彩野 | 亀井 孝晃 | 福田 隆太 | 成田 雪那 | 深谷 寧音 | | |
| 稲垣 奈津 | 堀場 南菜 | 山中 流香 | 井平 涼 | 岡田 千夏 | 加藤 愛理 | 近藤さつき | 瀬口 杏実 | 岳野 恭輔 | 野田佳那美 | 藤井 琴音 | 深谷祐加里 | 森島 柘花 | 森山日向子 | 田代 千尋 | 加藤小百合 | 山下 巴菜 | 菱田 美羽 | 荒木かれん | 鈴木 瞳 | 加川 晴菜 | 福田 雪穂 | 後藤 雄介 | 鈴木 沙奈 | 古瀧 真名 | 篠原 直輝 | 石原 綾乃 | 渡辺 真生 | 筒井あゆみ | 宇都 鈴音 | 山田 蒼野 | 岡本 奈子 | 鈴木 彩香 | 岩川 浩輝 | 板津 百香 | 山本千紗都 | 溝口 真梨 | 中谷 優華 | 梅溪 眞衣 | | | |
| 松下 真衣 | 井手口颯人 | 松尾 修史 | 高村 咲葵 | 内川 桜 | 安田 彩衣 | 大山 凌 | 山田 智絵 | 原 みさと | 田代 愛 | 都築 恵実 | 大澤 美桜 | 大島 けい | 岩田 純伶 | 青山 楓 | 伊藤 葵 | 谷澤 梓 | 古瀬 晴菜 | 松島 由奈 | 切島明日香 | 木村さくら | 小川 純奈 | 國枝 さら | 柴田奈津希 | 芝 優里花 | 岩田 恭昌 | 佐藤日菜乃 | 入交 優輝 | 長谷川果那 | 青山 賢人 | 河原 夏蓮 | 小塚 夏女 | 伊原 妃夏 | 田下 結惟 | 内藤 勇人 | 佐合 美穂 | 中川 みか | 大原ゆい菜 | 豊田 実咲 | | | |
| 中里真依子 | 榊原 清花 | 前田 悠有 | 太田 千夏 | 洪谷佳緒里 | 山本奈々江 | 久米由佳梨 | 大脇 有花 | 山邊 彩花 | 佐藤 桃嘉 | 山口 靖葉 | 吉本 凌 | 近藤 咲 | 大村 有未 | 石黒 菜緒 | 澤田 龍希 | 山本 舞 | 牧野 友恵 | 棚橋歩乃佳 | 神谷 和輝 | 鈴木 和輝 | 伊藤理紗子 | 高本 佑衣 | 山下 侑子 | 田中 陽菜 | 田中 陽菜 | 近藤なつみ | 堀尾真喜子 | 江尻 ことの | 遠藤 朱莉 | 小野田いおり | 長谷川 怜 | 林 慶将 | 高木 梨央 | 荻谷 成美 | 千賀 孔介 | 原田 真緒 | 板倉 有希 | 佐合 美穂 | 中川 みか | 大原ゆい菜 | 前田 海遥 |
| 深谷 由季 | 大倉 萌香 | 角谷 美咲 | 舟橋 季乃 | 小林 美有 | 坂井田美佑 | 石川莉紗子 | 加藤 千沙 | 稲垣 圭亮 | 西口 瑠風 | 吉見朱日佳 | 高木菜々子 | 小山風々実 | 磯部 合里 | 松尾 涼那 | 各務 陸 | 金野 信之 | 長屋 雅也 | 多和田真也 | 田宮 佑至 | 村上 凛 | 細川 有彩 | 田中 舞 | 川崎 真歩 | 原田由葵乃 | 大橋妃奈乃 | 一ノ瀬花奈 | 楠戸 雄也 | 桑山 凱斗 | 加島 靖大 | 原田 裕豊 | 後藤 彩佑 | 河村 凜香 | 長瀬 由奈 | 佐光 真侑 | 村上 明加 | 蜷川 真未 | 中嶋 玲菜 | 白田 祥果 | | | |
| 加藤 勇多 | 西川 優生 | 塩谷知佑紀 | 加藤 実李 | 井上 歩香 | 高木 彩花 | 中島 莞太 | 加藤 優衣 | 石原 杏捺 | 谷澤 寧音 | 松浦瑠璃華 | 若山 鈴奈 | 太田 直治 | 葛山 由菜 | 菅谷 郁美 | 大野 友鈴 | 田中 里奈 | 梶田 愛子 | 宮原 昂大 | 原 有沙 | 富田 実華 | 妙中 美月 | 新美 佑歩 | 佐藤 衣織 | 佐藤 真帆 | 有本 菜桜 | 根本 紗良 | 澤元 実優 | 鈴木理香子 | 中川楓美恵 | 田尻 夏音 | 金澤 星奈 | 村瀬 詩織 | 齋藤 奏江 | 山村 光咲 | 山田 華凜 | 宮坂 杏里 | 山岸 聖空 | 鈴木ひと美 | 村瀬 日菜 | | |

中日新聞社賞 小五 安藤 誉純
雪の富士
 五年 安藤 誉純

中日新聞社賞 小四 市橋 歩大
冬げしき
 四年 市橋 歩大

東海テレビ放送賞 高三 前川紗於里
虚空絶塵想
 高三 前川 紗於里

東海テレビ放送賞 高一 中山 知美
天高群星近
 高一 中山 知美

東海テレビ放送賞 中三 片山 沙弥
胎蔵灌頂
 中三 片山 沙弥

東海テレビ放送賞 中二 渡邊 茉優
初光雲海
 中二 渡邊 茉優

東海テレビ放送賞 中二 鈴木 千尋
飛躍の年
 中二 鈴木 千尋

東海テレビ放送賞 中二 平山 琴音
墨の祭典
 二年 平山 琴音

東海テレビ放送賞 小六 増田 梨里
早春の光
 六年 増田 梨里

東海テレビ放送賞 小六 川瀬 愛加
伝統を守る
 六年 川瀬 愛加

東海テレビ放送賞 小五 真野 青空
清新の年
 五年 真野 青空

東海テレビ放送賞 小四 南山 香
平和な国
 四年 南山 香

CBCテレビ賞 高二 宗 香織
春の桃の花開け
 高二 宗 香織

CBCテレビ賞 中三 会田穂乃花
四海生春風
 中三 会田 穂乃花

- | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|---|---|---|--|
| 杉浦 一ノ木 平賀 兼行 佐藤 伊藤 野口 山本 鶴籠 森下 辻 初山 嶽本 徳永 大森 成田 山田 稲田 村上 藤野 岡原 平野 伊藤 中村 神谷 一色 川村 森本 山本 伊藤 三島 中野 杉山 渡辺 須田 奥村 加藤 伊藤 勝野 | 深谷 河合 朝比奈 白井 田篠 佐原 安里 島袋 中島 溝口 森下 辻 初山 嶽本 徳永 大森 成田 山田 稲田 村上 藤野 岡原 平野 伊藤 中村 神谷 一色 川村 森本 山本 伊藤 三島 中野 杉山 渡辺 須田 奥村 加藤 伊藤 勝野 | 長崎 竹内 野口 鷺見 浅野 小平 吉野 原 藤 榎 大崎 橋村 柴田 細川 近藤 鈴木 小池 長谷 西脇 中上 国枝 三浦 宮本 音部 堀口 細貝 市橋 大矢 大澤 堀場 加茂 内藤 後藤 川畑 村田 成瀬 吉川 久保 川本 林 | 早川 山田 鈴木 藤本 石田 藤島 大野 伊藤 高野 榎 大崎 橋村 柴田 細川 近藤 鈴木 小池 長谷 西脇 中上 国枝 三浦 宮本 音部 堀口 細貝 市橋 大矢 大澤 堀場 加茂 内藤 後藤 川畑 村田 成瀬 吉川 久保 川本 林 | 平山 内田 若林 鈴木 土田 本田 林 岡村 柳詰 酒井 安井 岡村 松室 加藤 中野 中村 落合 日比 守屋 竹内 青屋 横井 青山 伊藤 木崎 奥原 伏見 飯田 羽鳥 中村 今橋 齊藤 岡 山下 青石 金子 神谷 丹 鈴木 持田 肥後 | 福島 深谷 河合 朝比奈 白井 田篠 佐原 安里 島袋 中島 溝口 森下 辻 初山 嶽本 徳永 大森 成田 山田 稲田 村上 藤野 岡原 平野 伊藤 中村 神谷 一色 川村 森本 山本 伊藤 三島 中野 杉山 渡辺 須田 奥村 加藤 伊藤 勝野 | 長崎 竹内 野口 鷺見 浅野 小平 吉野 原 藤 榎 大崎 橋村 柴田 細川 近藤 鈴木 小池 長谷 西脇 中上 国枝 三浦 宮本 音部 堀口 細貝 市橋 大矢 大澤 堀場 加茂 内藤 後藤 川畑 村田 成瀬 吉川 久保 川本 林 | 早川 山田 鈴木 藤本 石田 藤島 大野 伊藤 高野 榎 大崎 橋村 柴田 細川 近藤 鈴木 小池 長谷 西脇 中上 国枝 三浦 宮本 音部 堀口 細貝 市橋 大矢 大澤 堀場 加茂 内藤 後藤 川畑 村田 成瀬 吉川 久保 川本 林 | 平山 内田 若林 鈴木 土田 本田 林 岡村 柳詰 酒井 安井 岡村 松室 加藤 中野 中村 落合 日比 守屋 竹内 青屋 横井 青山 伊藤 木崎 奥原 伏見 飯田 羽鳥 中村 今橋 齊藤 岡 山下 青石 金子 神谷 丹 鈴木 持田 肥後 | 福島 深谷 河合 朝比奈 白井 田篠 佐原 安里 島袋 中島 溝口 森下 辻 初山 嶽本 徳永 大森 成田 山田 稲田 村上 藤野 岡原 平野 伊藤 中村 神谷 一色 川村 森本 山本 伊藤 三島 中野 杉山 渡辺 須田 奥村 加藤 伊藤 勝野 |
|--|---|---|---|---|--|---|---|---|--|

CBCテレビ賞 中三 櫻井 紀子

基本的人権

中三 櫻井 紀子

CBCテレビ賞 中三 今井 彩寧

新春福祿寿

中三 今井 彩寧

CBCテレビ賞 中二 竹野 直花

花鳥装春

中二 竹野 直花

CBCテレビ賞 中二 齊藤 春果

富士の白雪

中二 齊藤 春果

CBCテレビ賞 中一 大迫 佳苗

山河四望春

中一 大迫 佳苗

CBCテレビ賞 小六 中澤 皓晴

新春初光

小六 中澤 皓晴

CBCテレビ賞 小六 中内 美京

一望千里

小六 中内 美京

CBCテレビ賞 小四 荻原 和馬

美しい空

小四 荻原 和馬

浅井 駿佑 下里 元氣 岡崎 百花
 中島 理花 岩田 学土 渡辺 真也
 武田 芽依 糸魚川泰一 吉原 凪
 村瀬 加歩 棚橋健太郎 ○小学五年
 舟井 葵 乙部 峻平 木村 歌暖
 鈴木 里佳 山崎 倫空 都築 湧人
 辻 智充 新美 友菜 山田 直佳
 前田 紗希 須藤友理南 島本 笑理
 中野 若菜 日沖 莉理 久保田真菜
 岩田 京子 稲垣 真優 大塩恵里佳
 小松 真子 中山 結月 井戸彩里衣
 尾関 活 安藤なつみ 村井咲耶香
 江口 友月 廣比 美咲 井深 大樹
 伊藤凜々華 浅野 東吾 森嶋 心海
 長江 佑菜 重松 真緒 汲田 愛理
 鈴木 美結 佐藤 志野 安藤 光里

福川 結 中野 弥美 戸田 碧
 林 優杏 坂田 実優 佐原 主馬
 三浦 美咲 古崎 陽一 磯村日菜乃
 野田 柚希 長坂 茉綯 西脇 有紗
 山本 桃花 三井 佑水 竹本 英那
 伊藤 萌絵 松尾 京香 金森 柚奈
 中西 碧 成瀬 桃果 倉木 由衣
 菅沼 歩夢 岡田 泰征 石井 陸仁
 新井本和花 渡邊菜々香 鈴木 恒河
 草深 怜人 小塚あかり 大鹿 桜
 角 百々花 森尾 愛音 落合和花子
 多田 進哲 山田明日香 山田 麗
 辻 美咲 松尾 優衣 甲斐璃乃花
 水谷 彩乃 古澤樹菜里 青山陽和太
 高橋 真緒 舟橋 優 古田菜々美
 神園 七瀬 中村野乃夏 吉田ゆりこ

池田 深有 小林 美優 増田 龍聖
 野村 杏紗 杉本 奈央 安江 由菜
 新海 容子 浅井 優里 伊藤 聖華
 釘本 朱音 栗山 遙夏 三林 美湖
 丹羽ゆめの 城山 愛季 上田 春奈
 大竹ちひろ 藤村 真央 横山ゆづか
 塩満 舞姫 佐野明日葉 大島 彬徳
 岡田 涼那 野田 尚岳 井上 咲来
 長谷 優月 松原 有瞳 重本 愛実
 吉橋 采里 山中 夏凜 桑原 彩華
 鈴木 優菜 坂本 茉奈 吉田 芽生
 岡田 理沙 竹田 葉菜 岩倉 羽奈
 ○小学四年 津志 桃愛 河合 美咲 森田 莉久
 服部百合菜 長谷川紗良 大澤 真歩
 塚本 羽那 増田 朱音 渡邊 真葉
 高橋 由衣 西川 純令 山下 恵麻
 徳田 真子 酒井 蘭名 浅野 莉沙
 円山 花央 山口 諒子 小多 麻未
 加賀 毬毬 清水ゆりあ 桃原菜乃葉
 村松 美月 大西 莉々 糸数 璃乃
 森 愛由菜 浅川 莉々 小島 乙芭
 坂井田泰基 古瀬 瑞歩 松坂 康平 船戸 颯太
 足立 愛心 阿部 大祐 大野 史華
 今治 帆香 西脇 千裕 間宮 彩葉
 飯沼 友那 森上 帆波 坪内 佑斗
 松谷 神威 井原 千琴 木林 悠翔
 中山 穂 松原 花心 竹内 雄彩
 柘植みい菜 村山 樹 林 双葉
 田中 千勢 石黒 由萌 鷺野 眞歩
 石田 幹太 浜田稀力斗 ○小学一年
 宮田 梨央 野田 雛風 塚本 万愛
 野沢 雛風 大澤 香乃 西元 彩乃
 山内 律穂 山田 翔太 伊藤 美帆
 若林 恭吾 鈴木 慶太 市川 成美
 花房 直樹 後藤 真緒 能見 紗羽
 布目 唯華 山口 大和 重村 優仁
 樋田 志音 増田 佳穂

石垣 青葉 山岡 芽依 山岡 梓織
 福永 聖華 山中 美湖 山中 春奈
 鈴木 魁津 山田 結月 紅林 侑希
 ○幼年 松本 直波

応募点数..... 16,031点

入賞数

文部科学大臣賞..... 1名	中日書道会賞..... 10名	名誉会長賞..... 100名
愛知県知事賞..... 3名	中日新聞社賞..... 20名	理事長賞..... 114名
岐阜県知事賞..... 3名	東海テレビ放送賞..... 10名	推薦..... 376名
三重県知事賞..... 3名	CBCテレビ賞..... 10名	奨励賞..... 697名
名古屋市長賞..... 3名		特選..... 1,225名
愛知県教育委員会賞..... 3名		準特選..... 4,794名
岐阜県教育委員会賞..... 3名		秀逸..... 4,013名
三重県教育委員会賞..... 3名		佳作..... 3,152名
名古屋市教育委員会賞..... 3名		入選..... 1,485名

第一位	牛刀会
第二位	書友会
第三位	童遊会
第四位	墨書会
第五位	牧書会

支部だより (平成二十七年度) 下半期

一宮支部

●研修旅行

日時 十月三十一日(土)

行先 信楽・近江八幡

参加者 一、二六名(会員外五四名)

朝七時五十分一宮を出発。名神高速道路を走り「ミホミュージアム」へ。数多くの美術作品を鑑賞し、その後、「びわこの千松」にて懇親昼食会。午後からは、近江八幡市内を思い思いに散策し、深まり行く秋を味わいました。

●第六十一回一宮支部展

会期 十二月二十一日(土)～二十二日(日)

会場 一宮スポーツ文化センター

出品者 支部員 二二四名

青年部 個人五名 五団体七八名

第七十回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤昌石先生はじめ、副理事長松永清石先生、同関根玉振先生の賛助出品を賜りました。搬入陳列も手際よく進み、一宮支部員の「一致団結」を強く感じました。短い時間ではありましたが、深遠な芸術の森を散策することができ、よき学びの場となりました。

●第四十四回一宮支部学生書道展

支部展と同時開催 総出品点数 三、六三六点

会場は多くの出品者やご家族で賑わい、



学生書道展



講演会

充実した「目の勉強」「親子のふれあい」の場となり、作品を見入る真剣な眼差しが印象的でした。また、毛筆で思い思いの文字や言葉を書き込む「親年カレンダー作りイベント」も好評でした。

●支部講演会

日時 三月六日(日)

会場 一宮スポーツ文化センター

講師 愛知大学地域政策学部教授(文学博士) 荒川清秀先生

演題 「中国の街で見る漢字」

聴講者 一六〇名(会員外二八名)

講師の荒川先生は、長年NHKテレビ・ラジオの中国語講座で講師として出演された先生で、今回は、中国の街角で自ら撮影された看板や表示板などの漢字を題材に、日本の漢字の意味の違いについてお話されました。受講者から驚きの声が出たり、全員で中国語の発声をする場面もあるなど、楽しく拝聴し見聞を広めることができました。

●支部集会・交流会

日時 三月六日(日)

会場 支部集会「一宮スポーツ文化センター」
交流会「真清田神社参集殿」

参加者 支部集会「二六名 交流会「二七名

集会は、本部より理事・褒賞部長長内峰敏先生、第二事業部長佐野翠峰先生にご臨席賜り、二十七年報告事項と二十八年度事業計画が承認されました。

交流会においては、本部の先生方に加え、地元議員の先生方、一宮市教育長、一宮市芸術文化協会会長、講演会講師の先生、協賛者の方々など多くのご来賓をお迎えし、和やかな交流の場となりました。

半田支部

●第一回公開書道研修会

日時 十月二十五日(日)

会場 半田市福祉文化会館

講師 副理事長兼事務局局長 関根玉振先生

第二企画部長兼T部長 上小倉積山先生

参加者 四十八名(一般受講三十九名)

本年度より新企画、少しでも一般の人に書道に興味を持ってもらうためテーマを「書の実技講習」として二時間にわたって行いました。今回は楷書の、それぞれの書法解説及び実演、実技指導を、お二人の先生から熱心にご指導をいただきました。受講者の皆さんからは時間が短い、年に二・三回は行ってほしいとの、お声もいただきました次回開催を、約束し閉会。



公開書道研修会

●研修旅行

日時 十一月十五日(日)

行先 「近江路の旅」

黒壁スクエア・観峰館

参加者 三十八名

当日は天気は怪しく黒壁スクエアに着いた頃には「雨」。時間が経つのを忘れ、ゆっくり散策、昼食後、観峰館へ「特別企画展・華麗なる清朝後期の書画——ラストエンペラーの時代——」鑑賞、そして瓦当・石碑の拓本体験、十分満喫と思つたら特別の計らいで別室にて楊峴・金農・何紹基の作品を見せていただき全員、感激そして後髪を引かれながら帰路。

●支部集会・講演会

日時 三月六日(日)

会場 半田福祉文化会館

支部集会

出席者 六十七名

本部より伊藤昌石理事長、村瀬俊彦記録統計部長のご臨席を賜り支部集会を開催しました。平成二十七年度の事業報告・収支決算の中間報告及び平成二十八年度事業計画・収支予算について報告、承認。

講師 円空学会顧問 長谷川公茂氏
演題 「円空の生涯」

参加者 七十二名

講師の長谷川公茂先生は二十歳ごろ「真の生きる道」を考え悩んでいる時、円空仏と出会いその微笑みに救われ、そして円空にのめり込んで六十年研究を続けて来られた。先生は円空の生涯は生母の霊の鎮魂から始まり遊行は他者の救済へと向かい十二万

体もの仏像の造頭に励んだ。彼の思想と信仰は「円空歌集」の中にあるそうです。話を聞いてみると、やはり長谷川先生は現代の円空さま。



研修旅行



講演会

西三河支部

●研修旅行

日時 十一月三日(火)
行先 福井
参加者 三十三名

大安禅寺と越前和紙の里を訪れ、親睦を深め楽しい一日を過ごすことができました。



研修旅行



支部会員展

●支部会員展

会期 二月十七日(水)～二十一日(日)
会場 岡崎市美術館
出品者 一九六名
入場者 一、一二八名

本部より理事長、副理事長の賛助出品を頂き、一段と重厚さが加わり盛大に開催できました。

●支部会員集会

日時 二月二十日(土) 午後二時
会場 岡崎商工会議所

参加者 一〇二名
本部より伊藤昌石理事長、松永清石、関根玉振副理事長のご臨席を賜り、事業報告、会計報告、事業計画につ



支部会員集会

いて承認されました。

●講演会

日時 二月二十日(土) 午後三時
会場 岡崎市商工会議所
参加者 一一六名

伊藤昌石理事長を講師にお招きし「嘘か本当か？」と題し、歴史上の人物を混じえてのご講演。興味深く聴講できました。



伊藤昌石理事長講演

●交流会

日時 二月二十日(土) 午後五時
会場 岡崎商工会議所
参加者 一〇五名



交流会

●研究会

日時 三月二十七日(日)
会場 安城市文化センター
参加者 一二六名

日頃の作品について社中の先生にご指導を受ける事ができ有意義な研究会でした。



研究会

東三河支部

●研修旅行

日時 十月二十五日(日)
行先 長野県諏訪市
参加者 三十五名

原田泰治美術館

SUWAガラスの里、中央自動車道を諏訪湖に向かいました。木々が色づき始めた諏訪湖周辺ではマラソン大会が行われており、走る人や応援をする人で賑わっていました。

SUWAガラスの里につき、まずレストランで自家製のパンや高原野菜を使ったこだわりのランチをいただき、その後、体験工房でリユーター体験に挑戦しました。ガラス製のペーパーウェイトにリユーターの機械を使って絵や文字を彫り、世界に一



研修旅行



つ、自分だけのガラスアートを創りました。

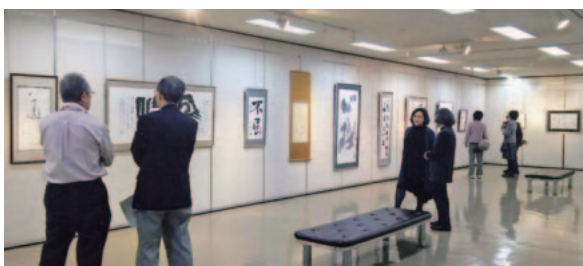
「原田泰治美術館」はガラスの里からほど近く、北アルプスを望む諏訪湖のほとりにありました。原田泰治の描く懐かしいふるさとの風景に出会い、心癒される一時を過ごすことができました。また、企画展として開催されていた「田村英二の世界」では、カラフルな色彩で立体に表現されたファンタスティックな世界を味わうことができました。

●支部選抜展

会期 二月九日(火)～十四日(日)
会場 豊橋市民文化会館
出品数 七十三点
入場者 七六九名

顧問の寺田樹風、星川双嶺、村田華穂、権田穂園各先生方、参与の鈴木瑞象、内藤大旺各先生方に玉作を出品していただき、各社中からは会員の個性あふれる作品が出品され、見応えのある選抜展になりました。

中日書道会の先生方や地元の書道を愛する方々に多数ご来場いただき、またご指導を賜り、出品者一同新年度に向けて思いを新たにしました。



選抜展会場風景

濃飛支部

●研修旅行

日時 十一月二十日(金)
行先 徳川美術館、ノリタケの森
国宝源氏物語絵巻特別展が開催されてい
る徳川美術館へのバス旅行です。バスは六
時五十分の下呂を出発し、中津、恵那で会
員を乗せ徳川美術館へ九時半頃到着しまし
た。十時より三十分程度、学芸部長の四辻
秀紀先生より源氏絵巻の解説をして戴きま
した。絵十五場面はおよそ四年の歳月をか
けて保存のための修復がなされました。絵
の構成、色彩、表情等細かな点にも心が配
られ千年も前の絵を修復することの苦勞を
映像を見せながら丁寧に説明して戴きまし



研 修 旅 行



た。今回は開館八十周年を記念して全場面
公開となりました。国宝源氏物語絵巻は平
安時代後期十二世紀前半に描かれたとされ
千年もの間後世に受け継がれて、人々の心
に影響を与え続けている事から考えても、
その収蔵の苦勞や工夫を伺い知る事が出来
ました。又一場面ごとの絵画的表現や詞書
の優美な書等時間の立つのも忘れ見入って
しまいました。

次はノリタケの森へ向いました。広い庭
園には陶器で制作された作品があちこちに
飾られていました。館内には陶器や磁器、
ガラス容器などブランド品が多く展示され
ていました。手は届かないけれど美しき良
き品物が鑑賞出来て良かったと思えました。
参加者は三十一名楽しく交流も出来ました。

●役員会

十二月三日(木) 第五号広報発行の素案
一月二十一日(木) 広報編集
二月四日(木) 広報校正、二月中発行

●企画委員会

三月二十七日(日) 於下呂市
議 題 新年度の計画
濃飛支部展について

北勢支部

●研修会

研修会は、十一月八日(日)に恒例のバ
ス旅行として三十名が滋賀県に行ってきま
した。



観 峰 館 に て

行程は、桑名駅前と近鉄四日市前で参加
者に乗せ、新名神を通ってまずは滋賀県の
原田観峰館へ。観峰館は開館から二十年が
経ち、この十月に新館がオープンしまし
た。オープン記念として「特別企画展 華
麗なる清朝後期の書画——ラストエンペ
ラーの時代——」を、約一時間かけて学芸
員の方から解説をいただきながら鑑賞しま
した。激動の時代を生きたラストエンペ
ラーの愛新覚羅溥儀にスポットをあて、彼
と同時代に活躍した人たちの書画が一同に
展示してあり、歴史の奔流の中にあつて
も、むしろ活発に華咲いた書画にこの時代

の息吹を感じることができました。続いて
別室に移り、瓦当の拓本採りを実習。一人
三枚を採りましたが、天候の関係で紙の
乾きが悪くかつ時間もあまりないので焦っ
て墨が滲んでしまいました。ランチは琵琶湖畔の休
暇村近江八幡にて和食をいただきました。
最後は、風情のある商人屋敷の新町通りや
八丁堀界隈、和洋菓子匠たねや・クラブハ
リエでの買い物をして帰路に着きました。

●講習会

支部講習会は、本年二月十二日(金)四日
市のばんこの里会館にて萬古焼の絵付け体
験を実施しました。参加者は三十五名でし
た。内容は既に焼成してある皿・湯呑・マグ
カップに自分の好きな文字や絵をかいて、
自分だけのオリジナル作品を制作するとい
うものです。当日は会館の担当者から説明
を聞いてすぐに書き始めました。ただ一発
書きであるためぐっと集中力を高めてから
書く緊張感が心地よかったです。また
希望者十名は、粘土状の陶板に文字をヘラ
で引っ搔いて作品として仕上げる体験もし
ました。こ



萬古焼の絵付け体験

ちらの方は
焼き上がり
が楽しみです。
これらの
作品は次
の支部展に
展示する予
定ですので
ご期待くだ
さい。

中南勢支部

●支部展

支部展を二月二十七日(水)より三十一日(日)まで、三重県立美術館県民ギャラリーにおいて開催しました。本部の先生方の作



品と、会員の作品八十点余りを壁面に、そして会場中央には昨年の研修旅行で制作した団扇を立体的に配置しました。漢字、かななど五部門の作品も会員の独創的なものが多く、中でも篆刻では新春にふさわしい宝船に乗った七福神の姿を見ることができました。

会場に足を運んでいただいた方々も熱心にご覧になり、来年の三十回の記念展には、もう一工夫しようと会員一同、心を新たにしました。

漢字、かな…筆に魂込め

●県立美術館 中部日本書道会支部展

中部日本書道会中南に集まった。勢いある 作業が少なくなつてい勢支部展(中日新聞社 筆遣いで書いた「就」の幅広の作品から、なび後援が二十七日)の一字や、古今和歌 書を身近に感じていた津市の県立美術館県民 集 百人一首を題材に「だいたい」と話す。(黒鷲彦)

た。三十一日まで。 福神の乗った宝船をか

鈴鹿市以南の十一、八 たどった家もある。

十代の会員八十人が一 高根村支部長「津

人一点ずつを出品。漢市一身田大古曾は

字やかな、近代詩文、インターネットや携

と五部門の作品が一堂 帯電話の普及で、書



中日新聞 2016.1.28

岐阜支部

●研修旅行

日時 十月二十三日(金)

行先 勝山恐竜博物館、福井市美術館 菊薫の穏やかな行楽日和、参加者二十六名で「勝山恐竜博物館と福井市美術館」を訪れました。

東海北陸自動車道、油坂峠を経由して、勝山恐竜博物館へ到着。銀色に光る大きなドームの内部の展示室には、今にも動き出しそうな恐竜骨格が立ち並び、まさに恐竜の世



研修旅行



勝山恐竜博物館

界。水と火をテーマとした、地球の科学、生命の誕生から人類達の進化を、生命の歴史と紹介。世界各国の恐竜をスクリーンと、標本等で展示され隈無く解説してありまし

た。 午後は福井市美術館を見学。福井市出身の彫刻家、高田博厚氏の肖像作品を中心に、彫刻、デッサン等が百点近く展示。企画展では、ルネ・ラリックのオールデコの香水瓶、化粧小物や、アクセサリ等のガラス芸術作品を見学しました。

その後、越前そばの里にてショッピングを楽しみ至福の一刻を得、学びの多い研修の旅でした。

●役員会議・事務局全体会議

三月二十七日(日)



支部役員会議

役員会議 午後四時～

出席者 十一名

事務局全体会議 午後五時～

平成二十七年の事業報告、決算報告 平成二十八年度の事業計画、予算(案) 右の項目に従って協議いたしました。